

令和6年度

予算の概要

・一般会計	1
・国民健康保険事業勘定特別会計	16
・後期高齢者医療特別会計	20
・水道事業会計	22
・公共下水道事業会計	25
・農業集落排水事業会計	28



白馬村





白馬村一般会計 (令和6年度予算の概要)

白馬の豊かさとは何か — 多様であることから交流し学びあい成長する村 —

【白馬村の財政状況】

白馬村は1998年の長野冬季オリンピック会場地として先行集中投資を行ったことから公債費負担が上昇し、実質公債費比率は長らく18%を超える状況が続いていました。平成8年度の当初予算は90億円を上回る規模で生まれ、決算時の予算現額は110億円に達していました。その後、公債費負担を適正な状況にもどすために事業の取捨選択、新規発行債の抑制、繰上償還や借り換えなどを行い、平成23年度決算に公債費負担比率が健全財政の指標とされる18%を下回り、平成29年度決算では9.4%にまで改善しました。しかしながら、平成26年度に神城断層地震が発生し、復旧復興事業を優先するために先送りにしていた広域ごみ処理建設の負担金や新給食センター建設などの大型事業の償還が始まったことにより、再び地方債現在高は増加しています。

当初予算規模は、神城断層地震以前は40億円台であったものが、平成27年度以降は60億円台で推移するようになりました。令和2年度以降は地方債の新規発行を元金償還額以下に抑えるなど予算規模の縮小に努め50億円台の予算が続いていましたが、令和5年度で60億円を超え、令和6年度の当初予算は67億1千100万円となりここ20年では最高額となりました。

【予算編成にあたっての基本的事項】

令和6年度予算も、「白馬村第5次総合計画」の基本理念「白馬の豊かさとは何か — 多様であることから交流し学びあい成長する村 —」の実現を目指し、村政運営の基本である後期計画に掲げる基本目標に合致した事業を推進していくこととしました。限られた財源を効率的かつ効果的に配分し、「最少の経費で最大の効果」を挙げるため、すべての事業について緊急性や必要性、費用対効果を十分に検証したうえで、持続可能な財政運営を推進していくことを基本方針とし、重点的かつ積極的に取り組むべき事業として全庁的に展開していくこととしました。そのために徹底した歳出の圧縮を行うこととし、令和5年度までと同様に、各課が経常的経費の一般財源を枠内で予算要求する「枠配分方式」を採用し、各課はその範囲内で創意工夫のもと予算を組み立てることとしました。

ただし、前述の重点的分野の事業については、予算要求に先立って各課からの提案方式によるものとし、経常的経費とは別枠で財源を確保しました。健全な財政運営を持続していくためには、一層の歳入確保に努める必要があり、経済情勢の推移や国県などの動向を注視し、職員一人ひとりの創意工夫や努力による新たな財源確保に取り組みました。また、職員一人ひとりがコスト意識を持って、課ごとに主体性と自立性を発揮した事業の取捨選択により前例踏襲主義を廃して経費削減に努めました。

【重点的に取り組む分野】

○ゼロカーボンビジョンの実現に向けた取り組みの推進

「白馬村気候非常事態宣言」「白馬村ゼロカーボンシティ宣言」をはじめ、行政のみならず白馬村に関係する一人ひとりが、その意識を共有するため、カーボンニュートラルの実現に向け庁内横断的な取り組みを推進していきます。

- ・GX推進コンサルティング支援委託事業
- ・白馬村ゼロエネ住宅普及支援補助金事業 など

○デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

デジタル社会に対応した行政サービスを目指し、創意工夫して臨機応変に対応するため、デジタル技術の活用により業務効率化を図って、行政サービスの更なる向上に繋げていくための事業を推進していきます。

- ・白馬村スマートビレッジ推進計画の実行
- ・LGWAN無線化対応事業 など

○子育て支援（少子化対策）の推進

喫緊の課題である「人口減少と少子化」に対応するため、家庭・地域・学校と連携し、子育て世帯が、より安心して未来を担うひとを育てるための環境の実現に向けた取り組みを推進していきます。

- ・はくばっ子応援交付金事業
- ・不妊治療補助金事業
- ・スクールバス運行事業 など

○農地の保全と地産の推進

農家の支援、生産効率を高める農地の整備、高収益作物の導入支援、スマート農業への取り組み、鳥獣駆除など農作物への被害防止を推進していきます。

- ・農業機械等導入支援補助金事業
- ・産地づくり対策負担金事業
- ・ほ場整備事業 など

○支え合う福祉と健康の村づくりの推進

村民一人ひとりが、住み慣れた地域で可能な限り自立した生活を営むことができる様、住民同士が支え合い、住民と行政の協働による地域福祉の村づくりを推進していきます。

- ・デマンドタクシー運行事業
- ・ふれあいセンター空調整備事業 など

○「世界水準」を意識した観光の村づくりの推進

観光地経営会議の開催、観光振興のための財源確保検討委員会開催を通して競争力と持続可能性を高める観光地経営を目指します。

- ・八方池山荘官民連携事業
- ・観光地経営会議支援委託事業 など

1 予算規模 67億600万円

前年度当初予算 60億5,600万円と比較し、6億5,000万円（10.7%）の増です。

2 歳入（説明は100万円単位（10万円以下切り捨て）で記載しています。）

村税は、14億3,500万円で昨年度比1,100万円（0.8%）の減です。個人住民税現年分において定額減税が行われることから5,900万円を超える大幅な減額となっていますが、減収分は全額国費で補填されることになっており、税収そのものが減るわけではありません。固定資産税は評価替により地価の上昇分が税額へ反映されることになることから、現年全体で1,200万円（1.3%）の増額を見込んでいます。法人村民税や村たばこ税、入湯税など観光客の増減に起因する税目については、観光客の増加を見込んでいずれも増額となっています。

各種交付金は、過去の実績等をもとに算出しています。法人事業税交付金400万円（26.7%）の増等を見込んでいます。

地方交付税のうち普通交付税については、18億2,100万円で計上しています。国の地方財政計画では社会保障関係費や人件費の増加が見込まれるため地方交付税等の一般財源総額について前年度を上回る金額を確保するとされていることから3,400万円（1.9%）の増額となっています。

特別交付税は自治体の特殊事情により交付されるもので、交付額はその年度の特事情により増減します。除雪経費や観光地に係る経費など近年の交付実績による通常分に加え、令和6年度はデジタル田園都市国家構想交付金事業に係る特別交付税措置分等により8,800万円（28.3%）の増となっています。

国庫支出金は5億7,900万円で前年度比9,300万円（19.1%）の増です。12月16日に発生した黒豆沢土砂災害の復旧のための事業費に対し9,000万円の国庫補助を見込んでいることが主な理由です。

主な内訳は、児童手当国庫交付金9,500万円、障害者自立支援給付負担金8,000万円、デジタル田園都市国家構想交付金4,787万円などです。

県支出金は3億3,900万円で前年度比1,000万円（3.0%）の増です。

増額の主なものは、農業用水路等長寿命化・防災減災事業補助金（1,000万円増）、障害者自立支援給付負担金（800万円増）などです。

主な内訳は、ジャンプ競技場管理委託金5,100万円、国民健康保険保険基盤安定負担金4,000万円、障害者自立支援給付負担金4,000万円、多面的機能支払交付金2,400万円などです。

寄附金は4億2,400万円で前年度比2億5,200万円（147.8%）の増です。前年度までの予算計上方法を改め、当初予算の時点で年度内の寄附総額の見込を計上することとしたため大幅な増加（率）となっています。

主な内訳は、ふるさと白馬村を応援する寄附金3億9,900万円などです。

繰入金は 6 億 8,400 万円で前年度比 2 億 5,100 万円（57.9%）の増です。

令和 6 年度は財政調整基金より 4,500 万円の繰入を行います。庁内 DX 化を加速させるための情報化対策事業 5,400 万円、し尿処理事業における下水道投入施設費に対する白馬山麓事務組合への負担金計上 2,500 万円などこれまでにない特殊事情に対応するために財政調整基金からの繰入を決断しました。

また、減債基金も 1 億 6,200 万円で前年比 1 億 3,600 万円の増額です。前述の「白馬村財政状況」のとおり、今後実質公債費比率が再び 18%を超えることを未然に防ぐための手段として、村債の繰上償還を実施する計画です。令和 6 年度の予算規模を大きくさせている要因の一つですが、後の財政状況にはプラスの作用として働きます。

ふるさと白馬村を応援する基金は 4 億 3,800 万円で前年度比 7,000 万円の増額です。アスベストを含む旧神城教員住宅の解体工事に 6,900 万円、観光交通と福祉交通を統合した AI デマンド乗合タクシーの運行費用に 3,200 万円、八方池山荘官民連携事業アドバイザー業務委託料に 2,400 万円を繰り入れるなど、先送りできない特殊な大型事業を複数実施する決断をしたことによるものです。これからもふるさと白馬村を応援する基金は、白馬村を応援していただいた皆様の期待に沿えるよう有効に活用してまいります。

村債は 2 億 9,100 万円で前年度比 6,000 万円（17.1%）の減です。

主な内訳は、普通交付税の振替分（一般財源）として扱われる臨時財政対策債 1,100 万円、黒豆沢土砂災害復旧に係る災害復旧事業債に 8,100 万円、スノーハープ改修事業に係る辺地対策事業債 2,300 万円、ウイング 21 改修事業に係る緊急防災・減災事業債 2,200 万円などです。

3 歳出（説明は 100 万円単位（10 万円以下切り捨て）で記載しています。）

【目的別歳出】（行政の目的に従って行われるいわば事業別の分類）

議会費 7,400 万円 前年度比 100 万円（1.4%）減

会議録反訳料 100 万円、議会報印刷製本費 100 万円などを計上しています。

総務費 11 億 5,900 万円 前年度比 1 億 800 万円（10.2%）増

ふるさと納税事業において、ふるさと納税返礼業務委託料を昨年度比 1 億 800 万円（165%）増の 1 億 7,500 万円を計上しています。令和 6 年度予算より、これまでの実績をもとに当初予算の段階で年間の見込額を計上することとしたことから当初予算上では大幅な増加となっています。一般管理事業では、デジタル田園都市国家構想交付金を活用した自治体 DX 推進事業「白馬村スマートビレッジ推進計画」として 4,600 万円を計上しています。財産管理事業では、令和 5 年度に実施した庁内のエアコン設置に係るリース料 1,900 万円を計上しており、令和 16 年度まで支出が継続します。戸籍住民基本台帳事業では、戸籍システムの全国的な標準化業務を行うことからシステム改修委託料として 1,500 万円を計上しています。地球温暖化対策事業では、環境 GX 推進コンサルティング支援委託料として 800 万円を計上しています。

民生費 13億2,800万円 前年度比4,200万円(3.1%)減

児童手当等給付事業では、認定保育施設に対する財政支援として施設型・地域型保育給付費に5,400万円、子育て支援事業では、子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりのため子ども第3の居場所事業補助金に1,400万円を計上しています。また、令和5年度に引き続き白馬村独自事業として子育て世帯へ祝い金を交付するため、はくばっ子応援交付金事業200万円を計上しています。

衛生費 5億2,100万円 前年度比1,200万円(2.3%)減

塵芥処理事業では、ごみ処理広域化施設整備などに係る北アルプス広域連合負担金に1億8,000万円、し尿処理事業では、白馬山麓事務組合負担金に8,000万円を計上しています。また、し尿投入施設に係る建設費負担金2,500万円を別途計上しています。母子保健衛生事業では、すべての子育て家庭が安心して子育てができる環境を整えるため出産・子育て応援交付金に500万円を計上しています。

農林業費 3億900万円 前年度比5,200万円(20.2%)増

令和5年度に引き続き「ゼロカーボンシティ」宣言の理念に基づき犬川に小水力発電施設と電動ゲートを建設するため犬川小水力発電事業に1億400万円、岩岳スキー場周辺でのナラ枯れ被害木の伐倒燻蒸委託料に100万円、近年の熊出没件数の増加、猿やイノシシ等による農作物への被害対策のための有害鳥獣駆除委託料に200万円を計上しています。

観光商工費 3億1,100万円 前年度比100万円(0.4%)減

デジタル田園都市国家構想交付金を活用した事業として5,000万円を計上します。リフト券を返礼品とするふるさと納税を現地で行うことができる仕組みづくりを核に申請をおこなっており、採択されれば事業費の半分が国から交付されます。デマンドタクシー運行事業費4,100万円は観光交通と福祉交通を統合して行う事業ですが、AIデマンドタクシー事業の実績がある観光課において令和6年度は事業をスタートさせます。山岳観光施設維持補修事業では令和5年度に引き続き八方池山荘建替にかかる費用として官民連携事業アドバイザー業務委託料2,400万円を計上しています。令和7年度にかけて総額5,500万円で行う計画です。

土木費 8億2,500万円 前年度比3,600万円(4.2%)減

除雪委託料は2,200万円増の2億1,100万円を計上しています。住民生活に身近な道路の整備を進めるため、道路改良起債事業に9,500万円、村道改良国庫補助事業に2,000万円、村道維持補修事業に1,900万円を計上しています。新規事業としては、長野県及び県内市町村による入札参加システムの共同化事業負担金に200万円、景観条例に基づく届出のあったものについて違反物件の有無をパトロールするための景観パトロール委託料100万円があります。下水道事業会計の繰出金には3億3,400万円計上しています。

消防費 2億3,300万円 前年度比2,700万円(13.1%)増

常備消防事業は、北アルプス広域連合負担金1億7,800万円で前年度比1,900万円増、新規事業として防災無線の屋外子局移転工事費500万円を計上しています。

教育費 6億400万円 前年度比8,900万円（17.2%）増

旧神城教員住宅の取壊しに6,900万円を計上していますが、アスベストの含有が確認されたことから通常の工事よりも大幅に工事費が膨らみました。スクールバスの運行は令和7年度からの通年運行を目標として令和6年度も実証運行費用2,800万円を計上しています。他にも、ウイング21館内の空調設備を整備することなどの工事費に2,200万円、伝統的建造物群保存事業では、「青鬼地区保存計画」を「青鬼地区保存活用計画」として見直すための計画策定委託料に200万円、将来の施設改修などに備えて義務教育施設整備基金積立金500万円を計上しています。

公債費 9億700万円 前年度比1億5,800万円（21.0%）増

近年実質公債費比率が上昇傾向にあり、このままではこの後数年で健全財政の指標とされる18%を上回る恐れがあることから、既往債の償還に加え、繰上償還を行うための1億6,000万円を上乗せして計上しています。

災害復旧費 2億800万円 皆増

令和5年12月16日に発生した黒豆沢土砂災害の復旧に係る費用を概算で計上しています。

【性質別歳出】（どういう行政目的に使われるかは問わず横断的に区分し、地方団体の財政の構造上の特色を判断するする分類方法）

人件費 11億400万円 前年度比500万円（0.4%）増

退職等による職員数の減員、人事院勧告に基づく給与改定によるベースアップなどがあり総計では500万円の増額です。

物件費 12億1,900万円 前年度比2億5,900万円（26.9%）増

ふるさと納税返礼品業務委託料、デマンドタクシー運行委託料、デジタル田園都市国家構想交付金事業「白馬村スマートビレッジ推進計画」、八方池山荘官民連携事業アドバイザー業務委託料、が物件費に該当し、これらの事業費の合計で昨年度比2億1,900万円の増額となっています。

維持補修費 2億9,800万円 前年度比500万円（1.7%）減

除雪委託料に2億1,100万円、村道維持補修工事費1,900万円、白馬ジャンプ競技場の修繕費に800万円を計上しています。

扶助費 4億100万円 前年度比5,300万円（15.2%）増

自立支援給付費が3,200万円増の1億6,000万円、児童手当が1,600万円増の1億3,900万円、子ども医療給付費が200万円増の2,100万円を計上しています。

補助費等 14億9,000万円 前年度比1億4,800万円（9.1%）減

令和5年度当初予算に計上されていた地方創生推進交付金事業と児童手当等給付事業（保育所等整備補助金）は単年度事業であったことから減額の要因となっています（両事業で1億7,600万円）。白馬高校支援事業とし尿処理事業を合わせて白馬山麓事務組合

等負担金 1 億 5,600 万円、児童手当等給付事業に認定保育施設に対する財政支援として地域型保育給付費 5,400 万円、施設型給付費 4,700 万円、私立幼稚園運営補助金 300 万円、子育て支援事業に子ども第 3 の居場所事業補助金 1,400 万円、塵芥処理事業に北アルプス広域連合負担金 1 億 8,000 万円、常備消防事業に北アルプス広域連合負担金 1 億 7,800 万円、公共下水道事業に下水道事業会計繰出金 3 億 3,400 万円を計上しています。

普通建設事業費 4 億 4,200 万円 前年度比 2,000 万円 (4.7%) 増

犬川小水力発電事業に 1 億 400 万円、村道改良起債事業に 9,500 万円、ウイング 21 維持管理事業 (館内空調設備工事等) に 2,200 万円、スノーハープ維持管理事業 (メイン会場法面の施設改修工事費) 2,000 万円を計上しています。

繰出金 3 億 9,000 万円 前年度比 100 万円 (0.2%) 増

介護保険事業 (北アルプス広域連合負担金) に 1 億 6,800 万円、住民国保事業に国民健康保険事業勘定特別会計繰出金 1 億 400 万円、後期高齢者医療事業に 1 億 1,300 万円、農業集落排水事業特別会計繰出金 300 万円を計上しています。

第1表 一般会計歳入歳出予算一覧表 歳入

(単位：千円)

款	令和6年度	令和6年度		令和5年度	比較	構成比 %	増減率 %	備 考 (主な増減額 10万円以下切り捨て)
	当初予算額	特定財源	一般財源	当初予算額				
1 村 税	1,435,148	43,687	1,391,461	1,446,023	▲ 10,875	21.4	▲ 0.8	現年個人住民税▲59,000、固定資産税+16,000、法人村民税(法人税割)+10,000
2 地方譲与税	77,442	9,442	68,000	71,970	5,472	1.2	7.6	過去の交付実績、県の収入見込額等から推計
3 利子割交付金	400	0	400	400	0	0.0	0.0	過去の交付実績、県の収入見込額等から推計
4 配当割交付金	4,000	0	4,000	3,500	500	0.1	14.3	過去の交付実績、県の収入見込額等から推計
5 株式等譲渡所得割交付金	3,300	0	3,300	3,400	▲ 100	0.0	▲ 2.9	過去の交付実績、県の収入見込額等から推計
6 法人事業税交付金	19,000	0	19,000	15,000	4,000	0.3	26.7	過去の交付実績、県の収入見込額等から推計
7 地方消費税交付金	240,000	120,000	120,000	240,000	0	3.6	0.0	過去の交付実績、県の収入見込額等から推計
8 環境性能割等交付金	5,300	0	5,300	4,700	600	0.1	12.8	過去の交付実績、県の収入見込額等から推計
9 地方特例交付金	64,980	0	64,980	4,200	60,780	1.0	1447.1	過去の交付実績、地方財政計画等から推計
10 地方交付税	2,220,000	0	2,220,000	2,098,000	122,000	33.1	5.8	過去の交付実績、地方財政計画等から推計
11 交通安全対策特別交付金	1,200	0	1,200	1,300	▲ 100	0.0	▲ 7.7	過去の交付実績等から推計
12 分担金及び負担金	69,679	69,679	0	85,773	▲ 16,094	1.0	▲ 18.8	土地改良事業受益者負担金▲12,000
13 使用料及び手数料	71,429	71,429	0	69,473	1,956	1.1	2.8	ダイヤモンドタクシー使用料+3,000
14 国庫支出金	579,558	579,558	0	486,425	93,133	8.6	19.1	堆積土砂排除事業費補助金90,000、デジタル田園都市国家構想交付金(観光課)25,000、デジタル田園都市国家構想交付金(総務課)22,000
15 県支出金	339,947	335,530	4,417	329,689	10,258	5.1	3.1	農業水路等長寿命化・防災減災事業補助金+10,000、障害者自立支援給付負担金+8,000、子どものための教育・保育給付県費交付金3,000
16 財産収入	18,047	18,047	0	16,320	1,727	0.3	10.6	
17 寄附金	424,008	424,008	0	171,100	252,908	6.3	147.8	ふるさと白馬村を応援する寄附金+256,000、企業版ふるさと寄附金+17,000
18 繰入金	684,107	638,321	45,786	433,503	250,604	10.2	57.8	減債基金繰入金+136,000、ふるさと白馬村を応援する基金繰入金+70,000、財政調整基金繰入金+45,000
19 繰越金	30,000	0	30,000	30,000	0	0.4	0.0	
20 諸収入	126,555	118,641	7,914	193,724	▲ 67,169	1.9	▲ 34.7	介護保険地域支援事業受託金+1,000、B&G財団助成金▲50,000
21 村債	291,900	280,200	11,700	351,500	▲ 59,600	4.4	▲ 17.0	堆積土砂排除事業債+81,000、緊急自然災害防止対策事業債(道路)+25,000、廃棄物対策事業債▲64,000
歳入合計	6,706,000	2,708,542	3,997,458	6,056,000	650,000	100.1	10.7	

第2表 一般会計歳入歳出予算一覧表 歳出（目的別）

（単位：千円）

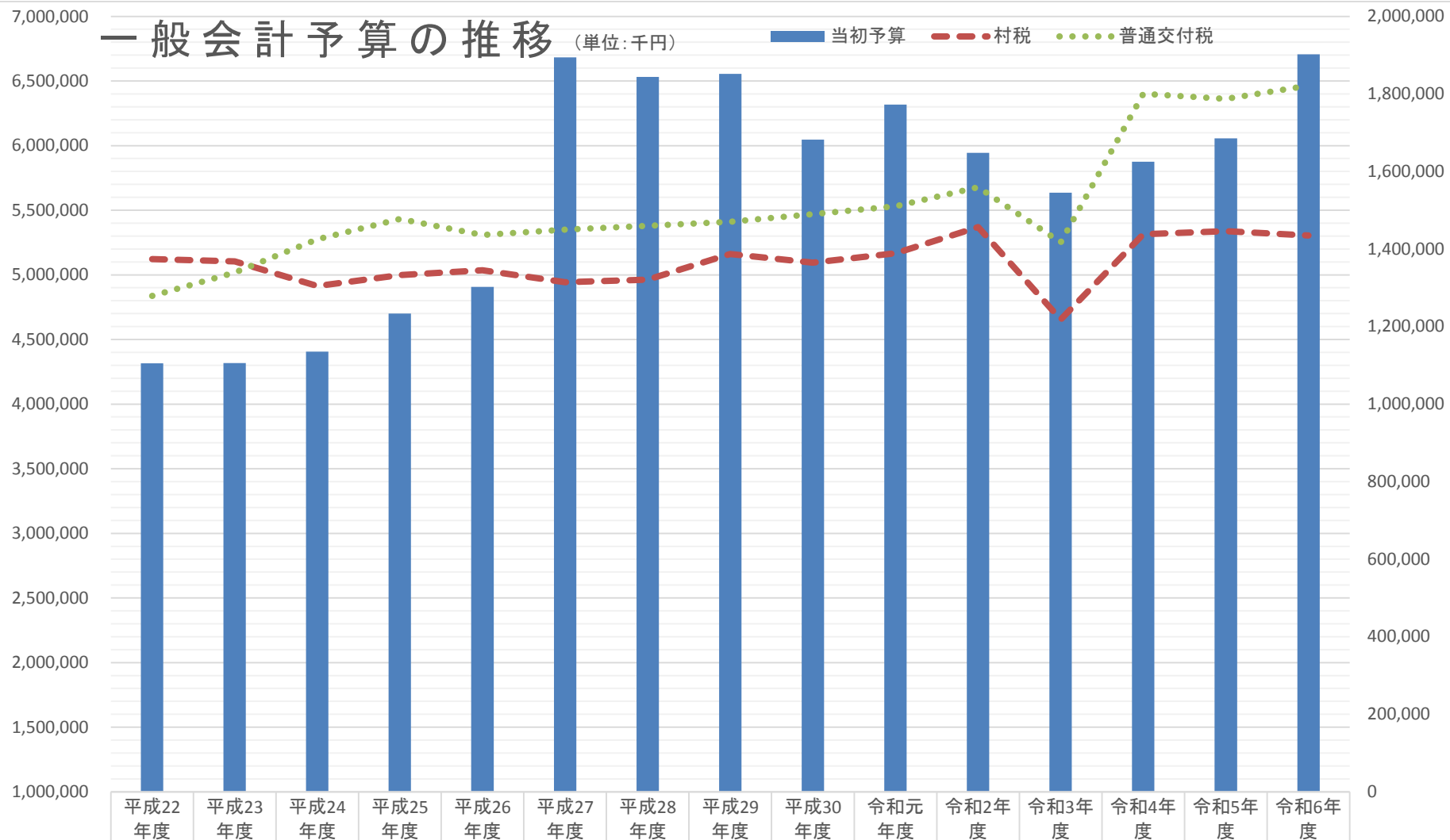
款	令和6年度	令和6年度		令和5年度	比較	構成比 %	増減率 %	備考 (主な増減額 10万円以下切り捨て)
	当初予算額	特定財源	一般財源	当初予算額				
1 議会費	74,906	0	74,906	75,310	▲ 404	1.1	▲ 0.5	
2 総務費	1,159,242	501,257	657,985	1,051,136	108,106	17.3	10.3	返礼業務委託料+108,000、情報化対策事業+45,000、戸籍電算委託料+13,000、環境GX推進コンサルティング支援委託料+8,000、ふるさと納税返礼品送料等+7,000
3 民生費	1,328,948	705,092	623,856	1,370,935	▲ 41,987	22.7	▲ 3.1	地域型保育給付費+39,000、自立支援給付費+32,000、児童手当+16,000、子ども第3の居場所事業補助金▲46,000、保育所等整備補助金▲65,000
4 衛生費	521,721	162,011	359,710	533,628	▲ 11,907	7.8	▲ 2.2	白馬山麓事務組合負担金+25,000、健診等委託料+7,000、北アルプス広域連合負担金▲57,000
5 農林業費	309,539	209,044	100,495	257,004	52,535	4.6	20.4	大川用水電動ゲート設置・小水力発電事業+74,000、水田麦・大豆産地生産性向上事業補助金+2,000、ほ場整備事業等負担金▲17,000
6 観光商工費	311,411	182,766	128,645	312,017	▲ 606	4.6	▲ 0.2	デジタル田園都市国家構想交付金事業50,000、デマンドタクシー運行事業41,000、八方池山荘官民連携事業アドバイザリー業務委託料24,000
7 土木費	825,208	179,602	645,606	861,212	▲ 36,004	12.3	▲ 4.2	除雪委託料+22,000、道路改良起債事業+20,000、都市計画事業▲18,000
8 消防費	233,035	15,419	217,616	206,454	26,581	3.5	12.9	北アルプス広域連合負担金（常備消防事業）+19,000
9 教育費	604,937	186,102	418,835	515,809	89,128	9.0	17.3	旧神城教員住宅解体工事+64,000、ウイング2 1維持管理事業+7,000、スクールバス運行事業+6,000
10 災害復旧費	208,610	182,000	26,610	0	208,610	3.1	-	
11 公債費	907,088	166,899	740,189	749,014	158,074	13.5	21.1	長期債元金+160,000
12 諸支出金	219,355	218,350	1,005	121,481	97,874	3.3	80.6	環境の保全積立金+69,000、子育て支援積立金+17,000
13 予備費	2,000	0	2,000	2,000	0	0.0	0.0	
歳出合計	6,706,000	2,708,542	3,997,458	6,056,000	650,000	102.8	10.7	

第3表 一般会計歳入歳出予算一覧表 歳出（性質別）

(単位：千円)

区 分	令和6年度 当初予算額	令和5年度 当初予算額	比 較	構成比 %	増減率 %	備 考 (主な増減額 10万円以下切り捨て)
1 人 件 費	1,104,175	1,099,364	4,811	16.5	0.4	人事院勧告に基づく期末手当の支給割合引き上げ
2 物 件 費	1,219,910	961,584	258,326	18.2	26.9	ふるさと納税返礼業務委託料+108,000、八方池山荘官民連携事業アドバイザリー業務委託料+24,000
3 維 持 補 修 費	298,705	303,695	▲ 4,990	4.5	▲ 1.6	除雪委託料+22,000、白馬ジャンプ競技場維持管理事業▲7,000
4 扶 助 費	401,859	348,619	53,240	6.0	15.3	自立支援給付費+32,000、児童手当+16,000
5 補 助 費 等	1,490,870	1,638,285	▲ 147,415	27.0	▲ 9.0	地域型保育給付費+39,000、白馬山麓事務組合負担金（し尿処理事業）+25,000、保育所等整備補助金▲65,000、地方創生推進交付金事業（観光）▲111,000
6 普 通 建 設 事 業 費	442,816	422,830	19,986	6.6	4.7	大川用水電動ゲート設置・小水力発電事業+74,000、旧神城教員住宅解体工事費+64,000、ほ場整備事業等負担金▲17,000、公用車購入費（マイクロバス）▲10,000
7 災 害 復 旧 費	208,610	0	208,610	3.1	-	
8 公 債 費	907,088	749,014	158,074	13.5	21.1	長期債元金+160,000
9 積 立 金	224,637	126,564	98,073	3.3	77.5	環境の保全積立金+69,000、子育て支援積立金+17,000
10 投 資 ・ 出 資 金	0	0	0	0.0	-	
11 貸 付 金	15,010	15,010	0	0.2	0.0	白馬村商工振興資金預託金
12 繰 出 金	390,320	389,035	1,285	5.8	0.3	後期高齢者医療特別会計繰出金+2,000、北アルプス広域連合負担金（介護保険事業）+2,000
13 予 備 費	2,000	2,000	0	0.0	0.0	
歳 出 合 計	6,706,000	6,056,000	650,000	104.7	10.7	

一般会計予算の推移 (単位:千円)

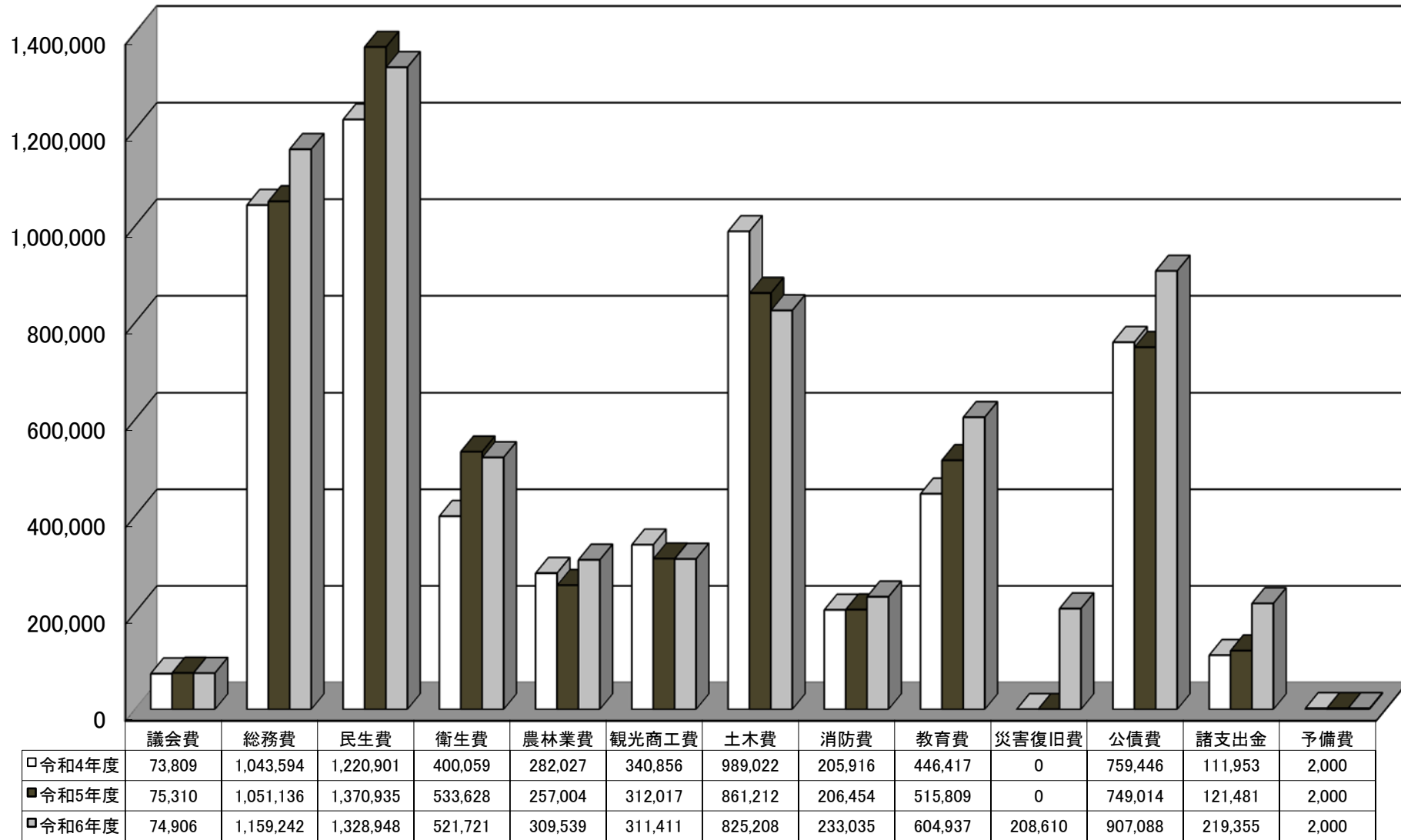


	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
■ 当初予算	4,315,000	4,318,000	4,406,000	4,701,000	4,906,000	6,682,000	6,532,000	6,555,000	6,047,000	6,317,000	5,945,000	5,636,000	5,876,000	6,056,000	6,706,000
- - - 村税	1,373,718	1,367,798	1,304,439	1,332,969	1,345,289	1,314,200	1,320,846	1,387,071	1,364,800	1,389,357	1,456,738	1,218,218	1,438,458	1,446,023	1,435,148
●●● 普通交付税	1,279,000	1,339,200	1,425,019	1,477,500	1,436,000	1,450,000	1,460,000	1,470,000	1,490,000	1,510,000	1,559,500	1,417,000	1,800,000	1,787,000	1,821,000

目的別歳出予算比較表

(単位:千円)

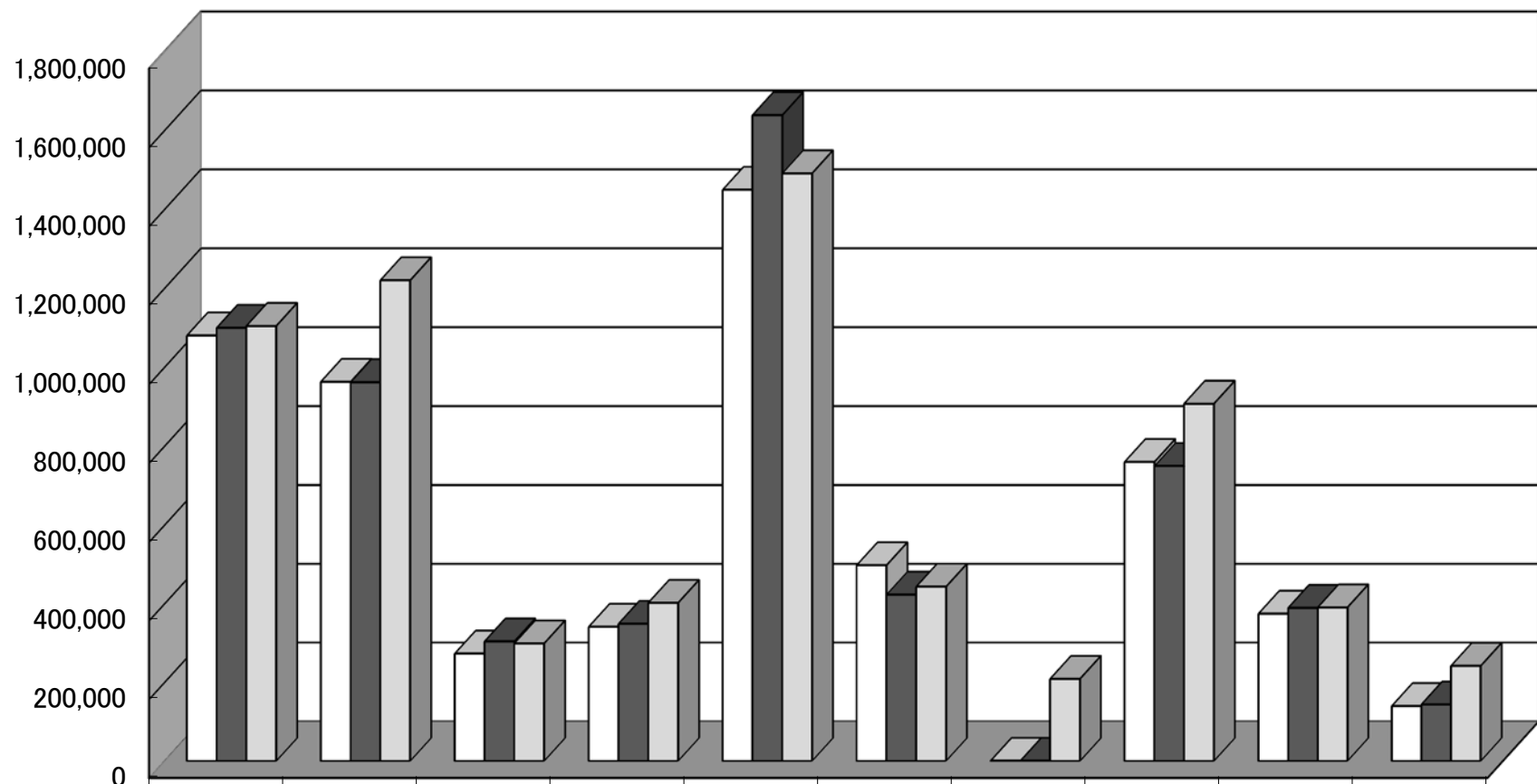
□令和4年度
■令和5年度
▣令和6年度



(単位: 千円)

性質別歳出予算比較表

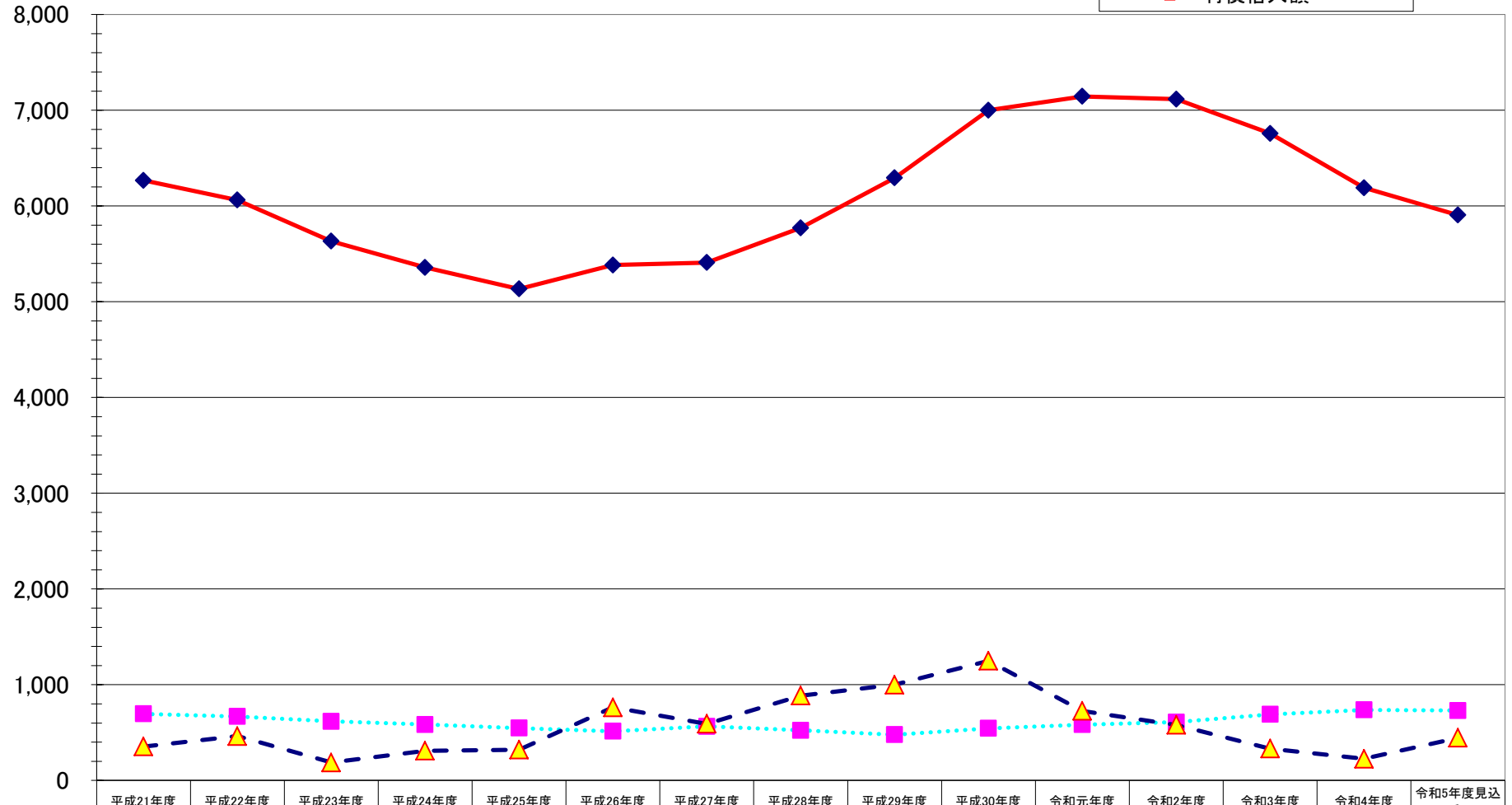
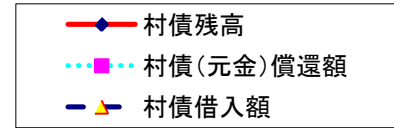
□ 令和4年度
■ 令和5年度
□ 令和6年度



	人件費	物件費	維持補修費	扶助費	補助費等	普通建設事業費	災害補修費	公債費	繰出金	その他
□ 令和4年度	1,079,808	962,608	272,787	340,927	1,449,184	497,342	0	759,446	374,307	139,591
■ 令和5年度	1,099,364	961,584	303,695	348,619	1,638,285	422,830	0	749,014	389,035	143,574
□ 令和6年度	1,104,175	1,219,910	298,705	401,859	1,490,870	442,816	208,610	907,088	390,320	241,647

村債現在高の推移

(単位: 百万円)



	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度見込み
村債残高	6,267	6,062	5,633	5,358	5,134	5,383	5,409	5,771	6,294	7,000	7,144	7,115	6,757	6,190	5,905
村債(元金)償還額	696	668	617	585	547	514	565	524	478	544	583	610	690	738	731
村債借入額	355	463	188	311	322	763	591	886	1,001	1,250	727	581	332	226	446

村税・村債発行額と公債費の推移

(単位:千円)

年度	村税決算額	村債発行額	主な事業	公債費(一借除く)	村債残高	歳出決算額
平成2年度	1,729,250	716,700	ジャンプ台・村道20路線	887,093	3,443,093	4,384,655
平成3年度	1,993,762	642,850	ジャンプ台・村道改良(森上、白沢他)	431,809	3,843,219	4,598,829
平成4年度	2,005,559	1,156,800	ジャンプ台・南小増改築・ふれあいセンター	603,035	4,605,280	5,914,112
平成5年度	2,133,806	1,994,700	スノーハープ・ジャンプサマー化・ふれあいC ・防災無線・旧夢白馬	540,120	6,243,853	7,164,193
平成6年度	2,091,934	1,552,200	スノーハープ・村道J台線他	640,375	7,386,285	6,692,198
平成7年度	2,202,522	2,032,200	スノーハープ・中学校建設・豪雨災害対策事業 ・アルペン会場・ウイング21・村道五輪関連	710,171	9,056,640	9,439,671
平成8年度	2,278,428	2,375,865	スノーハープ・中学校建設・アルペン会場 ・ウイング21・村道五輪関連	935,893	10,880,444	11,179,980
平成9年度	2,335,654	1,578,535	ウイング21・五輪関連道路	1,101,559	11,773,438	7,962,554
平成10年度	2,184,861	373,700	村道(1115号(3カ))・南小屋根等	1,517,665	11,035,454	6,170,823
平成11年度	2,113,740	464,900	村道八方融雪他・メディアムヒル	1,552,172	10,317,023	6,512,506
平成12年度	1,963,677	674,400	村道八方融雪他・メディア貸付	1,396,632	9,918,926	6,511,621
平成13年度	1,885,935	604,400	北小体育館・村道改良・農道 臨時財政対策債96,100	1,455,144	9,359,997	6,803,335
平成14年度	1,811,894	784,300	南小体育館・大出公園・村道 臨時財政対策債195,500	1,439,813	8,963,704	6,169,972
平成15年度	1,700,257	875,600	南小プール・大出公園・村道・農道 臨時財政対策債383,400	1,401,209	8,662,754	5,844,313
平成16年度	1,662,505	592,900	北小校舎・大出公園・除雪基地 臨時財政対策債260,100	1,219,982	8,233,030	5,413,547
平成17年度	1,557,584	369,700	大出公園・メディアムヒル 臨時財政対策債201,300	1,177,426	7,596,724	4,882,060
平成18年度	1,456,505	763,300	しろま保育園・村道神城山麓線 臨時財政対策債185,300	1,030,845	7,476,283	5,055,639

(単位:千円)

年度	村税決算額	村債発行額	主な事業	公債費(一借除く)	村債残高	歳出決算額
平成19年度	1,536,105	307,800	小学校耐震化・村道神城山麓線 臨時財政対策債168,000	902,932	7,018,776	4,537,881
平成20年度	1,543,510	306,259	村道神城山麓線・スノーハープ木橋 臨時財政対策債157,359	840,918	6,608,268	4,389,692
平成21年度	1,474,100	354,735	村道神城山麓線・情報通信基盤整備 臨時財政対策債244,235	807,925	6,267,182	4,919,517
平成22年度	1,529,559	463,113	情報通信基盤整備・スノーハープ木橋 臨時財政対策債338,013	769,644	6,062,315	5,532,444
平成23年度	1,522,695	187,856	スノーハープ木橋・村道神城山麓線 臨時財政対策債71,256	709,777	5,633,354	4,359,517
平成24年度	1,458,302	309,944	スノーハープ木橋・B&Gプール 臨時財政対策債50,444	667,967	5,358,375	4,591,844
平成25年度	1,503,305	322,300	スノーハープ芝グラウンド改修、奈良非有効利用整備 臨時財政対策債100,000	620,189	5,134,048	4,734,925
平成26年度	1,447,590	762,790	スノーハープコース等改修、奈良非有効利用整備 臨時財政対策債242,990	578,502	5,383,098	5,724,124
平成27年度	1,477,090	591,204	公共土木施設、農林業施設災害復旧 スノーハープ・ジャンプ競技場改修等事業 臨時財政対策債227,804	624,830	5,409,341	7,182,841
平成28年度	1,484,265	886,494	公共土木施設、農林業施設災害復旧 スノーハープ・ジャンプ競技場改修等事業 震災復興村営住宅建設 臨時財政対策債186,594	575,851	5,770,842	7,451,009
平成29年度	1,483,103	1,001,351	一般廃棄物処理施設建設事業、道路改良事業 ケーブルテレビ機器更新事業、村営住宅耐震改修事業 臨時財政対策債188,951	520,534	6,294,241	6,215,376
平成30年度	1,471,245	1,250,365	学校給食センター建設事業、道路改良事業 一般廃棄物処理施設建設事業 臨時財政対策債183,265	581,132	7,000,038	6,977,699
令和元年度	1,522,164	727,269	道路改良事業、ウイング屋根改修事業 新防災情報配信システム、学校エアコン設置事業 臨時財政対策債150,769	614,592	7,144,649	6,308,459
令和2年度	1,485,157	581,152	道路改良事業、B&G体育館改修事業 新防災情報配信システム、一般廃棄物処理施設建設事業 臨時財政対策債140,852	637,763	7,115,312	7,524,141
令和3年度	1,290,330	331,598	道路改良事業、は場整備事業、 駅前無電柱化負担金、落倉自然園木橋改修事業、 臨時財政対策債145,898	712,550	6,757,379	6,848,676
令和4年度	1,525,497	171,257	道路改良事業、駅前無電柱化負担金、 庁舎屋根改修事業、臨時財政対策債53,857	738,290	6,190,346	6,700,741
令和5年度見込み	1,473,000	445,500	犬川用水電動ゲート・小水力発電事業、 庁舎空調設備設置等事業、臨時財政対策債23,397	731,290	5,904,741	7,245,000

令和6年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計予算の概要

国の社会保障制度改革に伴い、平成30年度から県も市町村とともに国民健康保険（以下「国保」と表記）の運営を担うようになり6年が経過します。この間、国保運営は概ね順調に実施されていますが、医療費の上昇や少子高齢化による被保険者の減少が見込まれる中で、持続可能な安定的な財政運営や効率的な事業の確保などに努めていかなければなりません。

このような状況を踏まえ、長野県では令和3年3月に保険税水準の統一に向け、納付金の算定方法を見直すなどの必要な改革と保険事業の取組の方向性等を示した国保運営の中期的改革方針となるロードマップが策定され、令和9年度までに二次医療圏での医療費指数の統一と国保税応益割を標準保険料に近づけることが示され、これに伴い引き続き税率の改正を行います。毎年度変動する医療費水準と国保加入者の所得及び決算状況等勘案しながら、県下統一税率に向けた税率の更新を行うとともに、県が実施する激減緩和措置を講じていきます。

当村の被保険者一人あたりの医療費は、令和4年度では288,624円（前年比5,040円の増、県下77市町村中75位）で、平成24年度から県下で70位台を維持し低水準を堅持しているものの、重症者の増加や今後の後期高齢者医療制度への移行者の増加や人口減少等による被保険者数の減少が見込まれることから、いわゆる現役世代の負担が増加することが想定されます。

入国制限が緩和された影響により冬期間の国外からの外国籍の転入者が大幅に増加しているため、外国籍の転入者への国保制度の理解と国保税の納入についての周知を推進します。

令和6年度も安定的な国保事業を維持するために国保税の適切な賦課徴収に努めるとともに、医療費の抑制に繋げるため、異常の早期発見に努めるとともに、重症化予防と特定検診等の受診等の推進に努めます。

1. 予算編成の基本方針

国保税の収納対策として、外国籍の国保加入者に対して、国保税を加入時に支払う予納方式による納入を推進するとともに、外国籍者も含め口座振替・コンビニ収納・クレジットカード決済・スマホ決済により利便性を向上させることにより、納税促進も図り徴収率の向上に努めていきます。

また保健事業については、新規データヘルス計画に沿った生活習慣病重症化予防事業と高齢者保健事業と介護予防の一体化事業を積極的に推進することとし、特定健診の項目追加により異常の早期発見をめざし、特定健診受診率、保健指導実施率の向上を目指し事業を進めます。

2. 予算規模

令和6年度の予算規模は、県から示された国民健康保険事業費納付金や近年の医療費上昇を勘案し、歳入歳出予算総額で1,080,100千円（前年度比49,172千円の増）を予定します。

3. 歳入

(1) 国民健康保険税

税率改正、人口動態を鑑み205,600千円（前年度比13,200千円の増）を計上しました。

(2) 国庫補助金

予定ありません。

(3) 県支出金

725,519千円（前年度比34,510千円の増）を計上。このうち保険給付費に充当する普通交付金を709,220千円見込んだほか、特別交付金として、保険者努力支援制度交付金6,200千円、県繰入金2,530千円、特定健康診査等負担金4,068千円等を計上しました。

(4) 財産収入

財政調整基金の預金利子として、57千円を計上しました。

(5) 繰入金

一般会計からの繰入金として、104,588千円（前年度比3,755千円の減）を計上しました。

[内訳]

保険基盤安定繰入	69,487千円	(保険者支援分、及び国保税の軽減措置相当額)
出産育児一時金繰入	4,000千円	(給付見込額の2/3を繰入)
財政安定化支援事業繰入	8,805千円	(被保険者が原因とならない特殊事情による国保税軽減相当額)
人件費繰入	14,445千円	(職員2名分の給与、手当、共済費)
事務費繰入	7,013千円	(うち税制度改正による軽減判定所得算定等)
未就学児均等割保険料繰入	838千円	(未就学児の均等割軽減に係る繰入)
財政調整基金繰入	37,000千円	(前年度比5,000千円の増)

(6) 繰越金

5,000千円（前年度比103千円の増）を計上しました。

(7) 諸収入

国保税延滞金等、2,336千円を計上しました。

4. 歳 出

(1) 総務費

総務管理費、徴税費、国保運営協議会費を合わせ、22,193千円（前年度比2,386千円の減）を計上しました。

(2) 保険給付費

医療費の推移を勘案し、716,633千円（前年度比33,150千円の増）を計上した。保険給付費の大半は長野県から交付される普通交付金を充当しています。

1) 療養諸費

医療機関での医療給付や柔整施術等療養費、国保連合会へのレセプト審査費用を合わせ、609,160千円（前年度比20,290千円の増）を計上しています。

2) 高額療養費

国保加入者が医療機関等で支払う一部負担金の加重負担に対する軽減措置として100,000千円（前年度比12,000千円の増）を計上します。

3) 出産育児諸費

国保加入者の出産件数12件を見込み6,003千円（960千円の増）を計上します。

4) その他の給付費（移送費、葬祭諸費、精神諸費、高額介護合算療養費、傷病手当金）

1,470千円（前年度比90千円の減）を計上します。

(3) 国民健康保険事業費納付金

長野県から示された仮係数を基に納付金額を算出し、医療給付分、後期高齢者支援金等分、介護納付金分を合わせて、318,289千円（前年度比17,422千円の増）を計上しました。

※長野県において県全体の医療費見込額から、各市町村の所得水準や医療費水準を勘案して配分される。長野県の国保会計へ市町村が納付する金額となります。

(4) 保健事業費

特定健診や特定保健指導に要する経費の外、人間ドック受診補助金、医療費適正化のための医療費通知作成経費等として 21,192 千円（前年度比 1,173 千円の増）を計上しました。

心電図検査について、国保加入者の重症化予防と早期発見を目的として 40 歳以上の特定健診対象者全員の無料実施を継続するとともに、30 歳からの若年検診対象者も引き続き無料実施することとしました。また本年度から以上の早期発見を目的に眼底検査の無料実施を行います。

(5) 基金積立金

国保財政調整基金の利子分の積み立てとして、58 千円を計上しました。

(6) 諸支出金

保険給付費負担金等償還金、国保税還付金として、1,702 千円を計上しました。

(7) 予備費

33 千円を計上しました。

令和6年度白馬村後期高齢者医療特別会計予算の概要

75歳以上の方及び65歳から74歳の方で、一定の障がいがある加入希望者を対象とした医療制度の会計です。

1. 予算規模

令和6年度の予算規模は、長野県後期高齢者医療広域連合（以下「広域連合」と表記）が作成した市町村別負担金表（以下「資料」と表記）に基づき、歳入歳出予算総額を135,530千円（前年度比25,100千円の増）としました。

2. 歳入

(1) 後期高齢者保険料

広域連合の資料に基づき、104,657千円（前年度比22,107千円の増）を計上しました。

保険料の納付方法は2種類あり、被保険者が受給している年金からの天引きによる「特別徴収」と、被保険者が納付書・口座振替により納付する「普通徴収」です。なお、「特別徴収」については、年金の年間受給額、介護保険料と本保険料の合計額と年金受給額との割合等によって特別徴収とするか否かを国が決定します。

なお、令和6年度は2年に1度の保険料率の改正の年となり以下の表の金額となります。

特別徴収保険料	66,978千円	保 険 料	均等割	44,365円(被保険者一人当たり)	
普通徴収保険料	[現年度分]		37,675千円	所得割	9.45%
	[過年度分]		4千円	年間保険料限度額	80万円

- ・所得割は激変緩和措置により令和6年度は所得控除後の所得金額が58万円以下の場合は8.56%となります。
- ・年間保険料限度額は激変緩和措置により令和6年度は昭和24年3月31日以前に生まれた方、障害認定の方は73万円となります。

(2) 繰入金

一般会計からの繰入金として、30,585千円（前年度比2,996千円の増）を計上しました。

[内訳]

事務費用分	2,835千円	(総務管理費：1,755千円、保健事業費：1,080千円)
保険基盤安定繰入	27,750千円	(低所得者の保険料軽減分。広域連合の資料に基づき計上)

(3)繰越金

前年度と同額の 100 千円を計上しました。

(4)諸収入

前年度において歳出予算で還付した保険料等の広域連合からの戻入金等として、前年度と同額の 160 千円を計上しました。

3. 歳 出

(1)総務費

徴収費、保健事業費を合わせ、2,837 千円（前年度比 576 千円の増）を計上しました。

(2)分担金及び負担金

長野県後期高齢者医療広域連合へ白馬村が納付する費用として、被保険者が納付した保険料、及び保険基盤安定を合わせて、132,420 千円（前年度比 2,509 千円の増）を計上しました。

(3)諸支出

過年度に被保険者から納付され長野県後期高齢者医療広域連合へ納付した費用のうち、還付すべき保険料の費用として、前年度と同額の 150 千円を計上しました。

(4)予備費

123 千円を計上しました。

令和6年度白馬村水道事業会計予算の概要

1. 予算概要

(1) 水道事業収益

水道事業収益は324,222千円を計上し、前年度に比べると9,378千円の増額となります。

前年度の実績を鑑み増額となっており、主なものは水道料金271,970千円です。

(2) 水道事業費用

水道事業費用は304,270千円を計上し、前年度に比べると14,866千円の増額となります。

水を作る費用や水を配る費用に加えて、水道施設の修繕費や料金の徴収業務等に係る経費です。

二股浄水場運転管理委託料として16,137千円、メーター取替工事5,445千円、上水道台帳補正・データ整備業務4,961千円、倉下低区ポンプ室高圧盤他撤去工事4,070千円、二股浄水場 PPP 導入可能性簡易調査業務6,633千円が計上されています。

前年度に比べて、配水及び給水費の工事請負費・修繕費が約10,200千円の増額、総係費の委託料が約12,600千円の増額となる一方、動力費は約11,400千円の減額となります。

(3) 資本的収入

資本的収入は106,522千円を計上し、前年度に比べると3,392千円の減額となります。

白馬駅前無電柱化事業に伴う水道設備の移転補償費用として長野県から7,500千円、企業債97,000千円のほか、一般会計からの出資金が計上されています。

(4) 資本的支出

資本的支出は182,677千円を計上し、前年度に比べると115,907千円の減額になります。

白馬駅前無電柱化事業に伴う水道設備の移転費用、配水管布設工事を5か所、施設の機器更新工事7件など工事請負費120,060千円のほか、企業債償還元金、メーター費、職員人件費等が計上されています。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額76,155千円は損益勘定留保資金・建設改良積立金及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補填します。

令和6年度 白馬村水道事業会計損益勘定予算総括表

収 益

(単位：千円)

款・項	目	本年度 予算見積額	前年度 当初予定額	比 較	備 考
1	水道事業収益	324,222	314,844	9,378	
	1 営業収益	288,723	281,607	7,116	
	1 給水収益	271,970	266,258	5,712	
	2 受託工事収益	1	1	0	
	3 その他営業収益	16,752	15,348	1,404	
	2 営業外収益	35,499	33,237	2,262	
	1 受取利息及び配当金	5,061	3,590	1,471	
	2 雑収益	1,047	2	1,045	
	3 補助金	613	620	△ 7	
	4 長期前受金戻入	28,778	29,025	△ 247	

費 用

(単位：千円)

款・項	目	本年度 予算見積額	前年度 当初予定額	比 較	備 考
1	水道事業費用	304,270	289,404	14,866	
	1 営業費用	280,557	264,392	16,165	
	1 浄水費	43,181	45,890	△ 2,709	
	2 配水及び給水費	76,038	73,361	2,677	
	3 受託工事費	50	50	0	
	4 総係費	48,836	34,953	13,883	
	5 委員会費	103	103	0	
	6 減価償却費	106,849	104,035	2,814	
	7 資産減耗費	5,500	6,000	△ 500	
	2 営業外費用	18,713	19,012	△ 299	
	1 支払利息	3,213	3,512	△ 299	
	2 消費税及び地方消費税	15,500	15,500	0	
	3 特別損失	3,000	4,000	△ 1,000	
	1 過年度損益修正損	3,000	4,000	△ 1,000	
	4 予備費	2,000	2,000	0	
	1 予備費	2,000	2,000	0	

令和6年度 白馬村水道事業会計資本勘定予算総括表

収 入

(単位：千円)

款・項	目	本 年 度 予算見積額	前 年 度 当初予定額	比 較	備 考
1	資本的收入	106,522	109,914	△ 3,392	
	1 分担金及び負担金	9,300	6,600	2,700	
	1 工事負担金	9,300	6,600	2,700	
	2 企業債	97,000	103,100	△ 6,100	
	1 企業債	97,000	103,100	△ 6,100	
	3 出資金	222	214	8	
	1 出資金	222	214	8	

支 出

(単位：千円)

款・項	目	本 年 度 予算見積額	前 年 度 当初予定額	比 較	備 考
1	資本の支出	182,677	298,584	△ 115,907	
	1 建設改良費	146,613	149,424	△ 2,811	
	1 配水設備工事費	131,761	137,982	△ 6,221	
	2 営業設備費	14,852	8,252	6,600	
	3 固定資産購入費	0	3,190	△ 3,190	
	2 企業債償還金	36,064	49,160	△ 13,096	
	1 企業債償還金	36,064	49,160	△ 13,096	
	3 投資	0	100,000	△ 100,000	
	1 投資有価証券 購入費	0	100,000	△ 100,000	

令和6年度白馬村公共下水道事業会計予算の概要

1. 予算概要

(1) 下水道事業収益

下水道事業収益は479,789千円を計上し、前年度に比べると4,689千円の増額となります。

主なものは下水道使用料184,538千円のほか一般会計からの補助金、長期前受金戻入等が計上されています。増額の主な事由は下水道使用料の増加です。

(2) 下水道事業費用

下水道事業費用は476,246千円を計上し、前年度に比べると16,546千円の増額となります。

管渠及び処理場の維持管理、使用料の賦課・徴収業務等に係る経費です。

浄化センター運転維持管理委託料として41,806千円、脱水汚泥処理委託料として14,784千円を計上しました。増額の主な事由は減価償却費の増加です。

(3) 資本的収入

資本的収入は412,641千円を計上し、前年度に比べると4,459千円の減額となります。

一般会計からの補助金224,400千円、国庫補助金32,432千円、し尿投入施設整備に係る工事負担金として白馬山麓事務組合から34,207千円のほか企業債等が計上されています。

(4) 資本的支出

資本的支出は486,696千円を計上し、前年度に比べると13,804千円の減額となります。

し尿等投入施設整備実施設計業務として55,250千円のほか、地震対策に伴う委託料として13,310千円、下水道ポンプ場非常通報装置更新工事10,131千円、長期債償還元金、職員人件費等が計上されています。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額74,055千円は損益勘定留保資金で補填をします。

令和6年度 白馬村公共下水道事業会計損益勘定予算総括表

収 益 (単位：千円)

款・項	目	本 年 度 予算見積額	前 年 度 予算見積額	比 較	備 考
1	下水道事業収益	479,789	475,100	4,689	
	1 営業収益	184,628	178,228	6,400	
	1 下水道使用料	184,538	178,137	6,401	
	2 その他営業収益	90	91	△ 1	
	2 営業外収益	295,161	296,872	△ 1,711	
	1 補助金	110,100	111,100	△ 1,000	
	2 長期前受金戻入	184,996	185,549	△ 553	
	3 雑収益	65	223	△ 158	

費 用 (単位：千円)

款・項	目	本 年 度 予算見積額	前 年 度 予算見積額	比 較	備 考
1	下水道事業費用	476,246	459,700	16,546	
	1 営業費用	423,684	405,220	18,464	
	1 管渠費	11,099	14,673	△ 3,574	
	2 処理場費	76,008	76,524	△ 516	
	3 総係費	37,999	34,726	3,273	
	4 減価償却費	298,028	278,997	19,031	
	5 資産減耗費	550	300	250	
	2 営業外費用	49,562	52,480	△ 2,918	
	1 支払利息	30,552	35,470	△ 4,918	
	2 消費税及び地方消費税	19,000	17,000	2,000	
	3 雑支出	10	10	0	
	3 特別損失	2,000	2,000	0	
	1 過年度損益修正損	2,000	2,000	0	
	4 予備費	1,000	0	1,000	
	1 予備費	1,000	0	1,000	

令和6年度 白馬村公共下水道事業会計資本勘定予算総括表

収 入

(単位：千円)

款・項	目	本 年 度 予算見積額	前 年 度 予算見積額	比 較	備 考
1	資本的収入	412,641	417,100	△ 4,459	
	1 企業債	115,000	120,000	△ 5,000	
	1 企業債	115,000	120,000	△ 5,000	
	2 補助金	256,832	259,900	△ 3,068	
	1 国庫補助金	32,432	35,500	△ 3,068	
	2 他会計補助金	224,400	224,400	0	
	3 負担金等	40,809	25,878	14,931	
	1 分担金	5,000	5,000	0	
	2 工事負担金	34,207	17,500	16,707	
	3 受益者負担金	1,000	2,508	△ 1,508	
	4 その他負担金等	602	870	△ 268	
	4 県補償金	0	11,322	△ 11,322	
	1 県補償金	0	11,322	△ 11,322	

支 出

(単位：千円)

款・項	目	本 年 度 予算見積額	前 年 度 予算見積額	比 較	備 考
1	資本的支出	486,696	500,500	△ 13,804	
	1 建設改良費	98,830	100,452	△ 1,622	
	1 管渠建設改良費	80,120	64,452	15,668	
	2 処理場建設改良費	13,310	36,000	△ 22,690	
	3 固定資産購入費	5,400	0	5,400	
	2 企業債償還金	387,866	400,048	△ 12,182	
	1 企業債償還金	387,866	400,048	△ 12,182	

令和6年度白馬村農業集落排水事業会計予算の概要

1. 予算概要

(1) 下水道事業収益

下水道事業収益は5,458千円が計上されています。

主なものは下水道使用料750千円のほか、一般会計からの補助金3,067千円、長期前受金戻入等が計上されています。

(2) 下水道事業費用

下水道事業費用は5,457千円が計上されています。

管渠及び処理場の維持管理、使用料の賦課・徴収業務等に係る経費です。

主なものは処理施設運転管理委託料1,062千円のほか、減価償却費2,934千円が計上されています。

(3) 資本的収入

資本的収入は307千円が計上されています。

一般会計からの補助金263千円、野平地区地元負担金として44千円が計上されています。

(4) 資本的支出

資本的支出は1,582千円が計上されています。

全て企業債償還元金として計上されています。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額1,275千円は損益勘定留保資金で補填をします。

令和6年度 白馬村農業集落排水事業会計損益勘定予算総括表

収 益

(単位：千円)

款・項	目	本 年 度 予算見積額	前 年 度 予算見積額	比 較	備 考
1	下水道事業収益	5,458	—	—	
	1 営業収益	750	—	—	
	1 下水道使用料	750	—	—	
	2 営業外収益	4,708	—	—	
	1 補助金	3,067	—	—	
	2 長期前受金戻入	1,633	—	—	
	3 雑収益	8	—	—	

費 用

(単位：千円)

款・項	目	本 年 度 予算見積額	前 年 度 予算見積額	比 較	備 考
1	下水道事業費用	5,457	—	—	
	1 営業費用	5,060	—	—	
	1 管渠費	337	—	—	
	2 処理場費	1,741	—	—	
	3 総係費	38	—	—	
	4 減価償却費	2,934	—	—	
	5 資産減耗費	10	—	—	
	2 営業外費用	367	—	—	
	1 支払利息	217	—	—	
	2 消費税及び地方消費税	150	—	—	
	3 特別損失	20	—	—	
	1 過年度損益修正損	20	—	—	
	4 予備費	10	—	—	
	1 予備費	10	—	—	

令和6年度 白馬村農業集落排水事業会計資本勘定予算総括表

収 入

(単位：千円)

款・項	目	本 年 度 予 算 見 積 額	前 年 度 予 算 見 積 額	比 較	備 考
1	資本的収入	307	—	—	
	2 補助金	263	—	—	
	2 他会計補助金	263	—	—	
	3 負担金等	44	—	—	
	4 その他負担金等	44	—	—	

支 出

(単位：千円)

款・項	目	本 年 度 予 算 見 積 額	前 年 度 予 算 見 積 額	比 較	備 考
1	資本的支出	1,582	—	—	
	2 企業債償還金	1,582	—	—	
	1 企業債償還金	1,582	—	—	